

		胃・大腸内視鏡 同日検査	
		通常法	注入法
下剤の摂取方法		経口摂取	胃カメラで下剤を十二指腸内に注入
検査の手順		胃・大腸検査共に 午後 に検査	胃は午前 大腸は午後 に検査
		①下剤は経口摂取 ②麻酔をかける ③大腸カメラ ④そのまま連続で胃カメラ	①麻酔を軽くかける ②胃カメラと同時に下剤を注入する ③一度起きて排便 ④再度麻酔をしっかりとかけて大腸カメラ
利点		●一度起きる必要がなく、眠ったまま連続で胃・大腸検査を受けられる。	● 下剤を飲む必要がない。
欠点		●下剤を経口で飲む必要がある。	●胃カメラ後に、排便のため一度覚醒させる必要があるため、胃カメラの麻酔は通常より少なめにする必要がある。 よって嘔吐反射が強い方は、麻酔をしっかりとつけて胃カメラを行う事が望ましいのでお勧め出来ない。 ●高度便秘、癒着症例等適応にならない場合がある。 ● 大腸カメラのみでは検査が出来ない。